

**日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で
診療を受けられる患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～**

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	もやもや病の治療と予後に関する研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2026年 3月		
研究実施診療科	脳神経外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2022年 11月 17日	
	院長が研究実施を許可した日	2022年 11月 18日	
対象となる方	対象期間内に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科において、もやもや病、類もやもや病、およびその類似疾患の治療を受けた方		
対象期間	(西暦) 1989年 7月 ～ (西暦) 2025年 3月		
主たる研究実施機関	名古屋大学 医学部附属病院脳神経外科 (研究代表者氏名： 横山 欣也)		
共同研究機関	別紙【研究組織】参照		
当院の研究責任者	所属	脳神経外科	氏名 荒木 芳生
研究の意義・目的	もやもや病は希少な疾患であり、治療方針をはじめ、症状の進行リスク因子など、まだはっきりしていないことが多いです。当院は全国的にみても、もやもや病患者の症例数が多く、今までの治療歴、経過や検査データをまとめることで、治療と予後に関わる要因を明らかにできるものと考えています。 本研究は、当院を含めた研究共同機関に通院しているもやもや病と診断された方の診療録よりデータを抽出し、予後良好となる因子、予後が不良となる因子を明確にし、今後の診療の改善を目的としている。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情報を研究代表者が解析します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、もやもや病治療の情報、血液検査データ、画像データ、入院日数等)		
診療情報等の他機関への提供方法	必要なデータを、研究担当者がパスワードのセキュリティがかかった記録媒体により保存し提供します。なお、データは、氏名や住所等		

	といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離され、セキュリティーのかかったデータベース上で管理されます。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究に必要な資金は、名古屋大学医学部附属病院脳神経外科の委任経理金でまかなわれています。当院の実施には、特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科 宇田 憲治 電話 052-832-1121 (代表)

《別紙》

【研究組織】

1. 研究代表者

名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科 横山欣也

2. 共同研究者

所 属	責 任 者
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 脳神経外科	荒木 芳生
中京病院 脳神経外科	高須 俊太郎
豊田厚生病院 脳神経外科	住友 正樹

3. 研究実施施設

名古屋大学医学部 附属病院 脳神経外科

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 脳神経外科

中京病院 脳神経外科

豊田厚生病院 脳神経外科